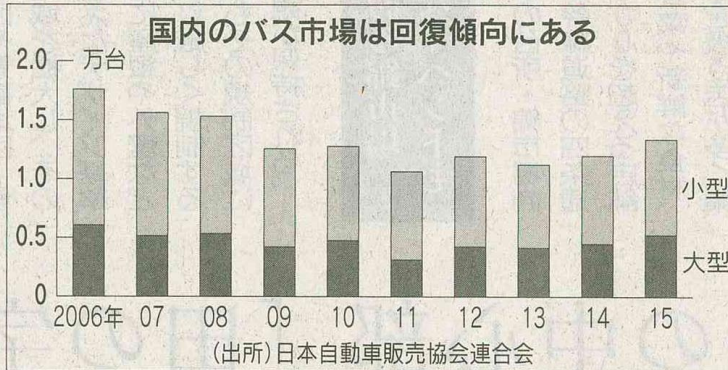


訪日客増え受注拡大

日野自動車といすゞ自動車は定員30人以上の大型観光バスの増産を始めた。両社が折半出資する生産会社のジェイ・バス（石川県小松市）が稼働時間や従業員を増やし、1日あたりの生産台数を最大3割引き上げた。訪日外国人旅行者が過去最高の水準で推移する中、観光バスの受注が伸びている。納車に1年以上かかる事例も出ており、増産対応を急ぐ。

いすゞと日野 観光バス増産



1日あたり最大3割



増産に伴い約1500人を新たに雇った。残業などで稼働時間も延ばして生産台数を増やした。ジェイ・バスの大型観光バスの生産台数は、15年度に1800台と14年度実績に比べて3割増える見

安全性を高めたバスの販売が伸びている

通した。

国内のバス事業は販売台数の減少で苦戦が続いていた。最近では訪日外国人旅行者の急増を追い風に販売が伸びている。

日本自動車販売協会連合会によると、15年のバス（大型・小型の合計）の販売台数は14年比11・7%増の1万3387台と、08年のリーマン・ショック以降で最高となった。

注意散漫になった運転手に警告音を鳴らす機能や、衝突被害を軽減するブレーキシステムを搭載するなど安全性の高い最新鋭の車両に買い替える需要も出ている。20年の東京五輪に向けて高水準の需要が続くとみてお

り、いすゞと日野は小松工場の生産設備の増強も検討している。

国内ではジェイ・バスと三菱ふそうトラック・バス傘下の三菱ふそうバス製造（富山市）が大型観光バスを生産している。三菱ふそうも15年から生産設備の改良や人員増で生産を増やしている。16年は15年比で2割以上生産台数を引き上げる計画だ。

大型観光バスの価格は1台3千万円以上。2500万円程度の路線バスに比べて利益率が良いとされている。ジェイ・バス、三菱ふそうともに納車の遅れによる機会損失を避けるために増産対応を急ぐ方針だ。

ジェイ・バスは小松工場（同）で、大型観光バスの1日あたりの生産台数を9台に増やした。2004年に日野といすゞがジェイ・バスに生産「日野セレガ」やいすゞを集約してから過去最高の「ガラ」を組み立て高の水準となる。同工場